

第3回介助つきコミュニケーション研究会

平成29年6月17日土曜日 午後1時～4時30分

國學院大學横浜たまプラーザキャンパス 411 教室



介助つきコミュニケーションとは、手を添えるなどの介助を通して初めて可能になるコミュニケーションの方法のことです。代表的なものは、介助者に手を添えられて文字を書く方法（筆談）と介助者に手を添えられて文字盤を指さす方法、介助者の「あかさたな…」という声に合図を送って文字を選んでいく方法です。

すでに多くの方がこれらの方法で意思の表現が可能になっており、そのことによって当事者の生活は大きな変化を見せています。

この研究会は、このことを広く世の中に伝えていくことを目的として平成28年4月より開催しています。

第3回目の研究会では、介助つきコミュニケーションに取り組んでいる現場の実情を、具体的な取り組みを紹介していくことを中心にしています。

この研究会は、当事者の会である「きんこんの会」の取り組みをもとにして生まれたもので、コミュニケーションの援助をする側と当事者とが対等の立場で参加することを大切にしています。

プログラム

1. 開会式
2. 介助つきコミュニケーションの実践報告
 - ① 学生による介助つきコミュニケーションの実践
 - ② 町田市障がい者青年学級における介助つきコミュニケーション
 - ③ きんこんの会からの報告「私たちの生活の現状と広がり」
3. 介助つきコミュニケーション情報交換会のお知らせ
4. 閉会式
(会終了後、7時までカフェラウンジ「万葉の小径」で懇親会を予定しています。)

問い合わせ先：〒225-0003 横浜市青葉区新石川 3-22-1 國學院大學人間開発学部 柴田保之

ご参加希望の方は、下記のメールアドレスに、お名前とご所属、お住いの都道府県、懇親会の参加の有無を添えてお申し込みください。なお、参加者の概数を把握するためのものですので、お申し込みがなくても当日の参加は可能です。研究会参加費は無料です。

介助つきコミュニケーションや当事者の思いに関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。

連絡用メールアドレス kinkon@hope.zaq.jp